

べたがけ栽培の決定版

**ユニチカ  
パスライト**

〈ポリエステル系複合長繊維不織布〉



## べたがけ栽培の諸条件をクリアした。

パスライトは、栽培作物(主として野菜)の防霜及び品質向上などに最適なべたがけ資材。

通気性及び吸湿性と適度な保温性を合わせ持ちながら、透光性が大きいので、

べたがけをしたままでも生育障害の心配がほとんどありません。

播種直後の発芽ぞろいが良く、また活着を促進します。

各種の野菜に広く利用でき、収穫アップが期待できます。

### 〈特長〉

- 1 防霜性に優れ、生育を促進します。
- 2 通気性・通水性・吸湿性があります。
- 3 透光性がよく、生育障害の心配がほとんどありません。
- 4 大変軽いので作業性も抜群です。

しかも、均一性に優れたポリエステル系複合長繊維不織布なので  
耐久性・強度も万全です。

### 〈効果〉

- 1 防霜
- 2 発芽促進
- 3 活着促進
- 4 品質向上
- 5 鳥害防止(露地)
- 6 雨・ヒョウからの強打保護(露地)

### 使用上のご注意

商品の特性上、葉先の鋭い作物や硬い作物の場合、まれに毛羽(糸くず)が作物に付着することがありますので、十分にご注意下さい。毛羽付着が見られた場合は、速やかにパスライトを除去した上で、販売店、農協にご相談下さい。  
なお、作物等への損害につきましては、当社賠償の責は負いかねますのでご了承下さい。

規格	幅(cm)	長さ(m)	透光率
	80、90、105、120、135、150、180、210、240、270、320、360、400	200	90%



# パスライトならではの高性能が、 作物へのべたがけを可能にしました。

パスライトがもっている数々の特長が、ほとんどの作物のべたがけを可能にしました。  
発芽ぞろいが抜群で、活着を促進します。下の例のほか、ニンジンやスイートコーンにも最適です。

## パスライト使用例

**露地** 収穫直前、播種・定植直後のべたがけに。定植直後の欠株防止(風除)のべたがけに。



パスライト



**ホウレンソウ**  
播種11月上旬  
収穫12月下旬  
(べたがけ使用期間)  
12月上旬より収穫時



**ジャガイモ**  
播種3月初旬  
収穫5月下旬  
(べたがけ使用期間)  
播種後約30日間

**トンネル** トンネル内のべたがけは多層トンネルの内トンネルに。



パスライト  
ビニールトンネル



**レタス**  
定植1月上旬  
収穫4月上旬  
(べたがけ使用期間)  
定植後20~30日間



**ハクサイ**  
定植1月中旬  
収穫4月中旬  
(べたがけ使用期間)  
定植後20~30日間



**ダイコン**  
播種1月中旬  
収穫4月上旬  
(べたがけ使用期間)  
播種後より2月下旬



**カブ**  
定植12月中旬  
収穫1月下旬  
(べたがけ使用期間)  
定植後30~40日間

**ハウス** ハウス内のべたがけに。



パスライト  
ビニールハウス



**ハウス内べたがけ**  
播種直後のべたがけに、ダイコン、シュンギク、ホウレンソウ等。定植直後のべたがけに、イチゴ、メロン、スイカ、花等。

**■パスライト露地べたがけによる効果の実例(小松菜)**



無被覆  
パスライト被覆

播種10月22日  
撮影12月23日  
(播種直後から撮影日まで被覆)

## パスライト試験データ

### ■べたがけ資材の温度

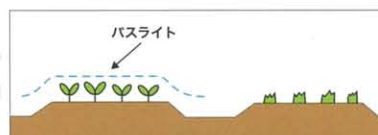
	被覆なし	パスライト
最高温度(°C)	34.5	38.9
最低温度(°C)	-1.2	2.7
平均温度(°C)	10.2	14.3

### ■パスライト実用試験データ

10月22日に播種を行った作物の、12月10日時点での生育状態[1株重量(単位:g)]

<山梨県総合農業試験場にて>

	コマツナ	ホウレンソウ	ターサイ	シュンギク	アオナ
パスライト区 べたがけ区	16.5	4.4	9.1	1.6	11.2
無被覆区	6.0	2.0	1.6	0.3	2.6



※1重トンネル密閉条件下でのべたがけ資材使用。  
※データ出所:埼玉県園芸試験場鶴ヶ島洪積畑支場

●このカタログに記載された内容、仕様は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。